

# 社會的 生活能力検査

東京女子高等師範学校教授 牛鳥義友

## 子供の生活能力検査

都會の子供と農村の子供の智能を較べると、農村の子供の方が低くなるのが從來での研究結果であった。しかしながら農村の子供の方が生活力が少ないと結論したら何人も異議をとなえるであろう。學校の勉強はできなくとも、家の仕事や農の仕事では遙かに有能であると考えられる。故に人の生活力は單なる智能だけからは論じることはできないよう思う。身邊の生活を處理する能力、労働や手傳い、或は人と協力したり、指導したり、都會によく適應するような能力、かかるものを無視する譯にはいかない。かかる社會的生活力を正しくつかむことが必要かと思う。アメリカの Social maturity test が考案されてゐるが、吾々も吾邦の子供に適した生活能力検査を作りたいくつとも思つて努力した。

このために基本的習慣の自立、生活の危険からの防禦力、道具の使用力、行動範囲の擴大、遊びに於ける社會關係、常識等に關した諸問題を配して一個の尺度を作つた。

このためには先ず「兒童生活力の調査」を行ひ、前述の諸

事項に關し、具體的にどんなことができるかを調査し、その結果の中から六十六個の問題を拾い出した。これを一、一一三名の十才以下の子供等に課して標準化した。尙この研究は愛育研究所に於て終戦後に標準化したものである。

この検査の信頼度は・八五五で相當に高く、評定者の相違によつても餘り大きな變化がなく、充分信頼して利用できるものである。

この検査は智能検査と同様な方法で行う。即ち子供の年齢を中心とし前後の問題を行い、子供がどのへんまでの能力を持つてゐるか調べ、一定の指數で表すこととする。次に検査問題と要領を示す。

## 社會的 生活能力検査要領

### 注 意

一、本検査は被検査者の父兄教師等が被検査について評定する

一、各項目に關し可能不可能を判定する

一、被検査者の示す偶然的能力でなく平素の日常生活に於

て示されている能力から判定する

一、不詳のもの或は判定困難なるものは缺とする

一、合格が五項目以上續いた場合はそれ以下の項目は合格

と見做す不合格五項目續いた場合それ以上の項目は不合

格と見做す  
一、年齢は満歳をとり月は切捨てる例えは三歳五月児は三歳児とする

## 一 歳

1 お匙の使用が出来る

2 食事の場合自分でお匙を持つて食べる事が出来ればよい。

3 手の左右や巧拙は問わない

4 自分でお茶碗から飲める

5 自分でお茶碗（コップ）を持つてお水などが飲めればよい

6 排尿の豫告もする

7 大小便を事前に知らせる事、如何なる言葉或合図をなすかは問わない

8 キヤラメル等の包紙を開く

9 キヤラメル等の包紙を自分で開ける事が出来るか否かを見る

## 庭を歩く

10 靴や下駄をはかせて庭を歩く事が出来る様になつた

か否かを見る、下駄に紐がかけてあってもよい

## 二 歳

11 上衣のボタンがかけられる  
12 背後や肩のボタンは別として前面の普通のボタンなら自分でかけられる様になつたか否かを見る、一番上のボタンだけがかけられない様なものは許す

6 お匙とお茶碗を両手に使用出来る  
一方の手にお匙他の手に茶碗を持つて自分で食事が出来ればよい、手の左右や巧拙は問わない

7 楽器を使わなくなる

晝間のみならず夜間も櫛梳を使わなくとも大丈夫になつているか否かを見る、或は夜間目をさまして排便を知らせる事が出来るか否かを見る

8 上衣が脱げる

9 洋服なら上衣を和服なら上の着物を自分で脱げるか、ボタンや紐はとけなくともよい

10 お箸の使用が出来る

11 食事のときお箸を使う様になつたか、左右や巧拙は問わない

12 完全に一人で食事が出来る

13 大人が助けてやらなくとも一人で食べられるか、お魚の骨を取つてやる事等はかまわない

14 手を洗う

15 命ずれば自分で手を洗う事が出来ればよい

## 三 歳

13 靴が一人ではける

下駄をはきこなす、特に複雑なものでないなら一人で靴がはけたり下駄を自由にはける様になつたか否かを見る

14 排尿の自立  
排尿は附添つてやらなくとも、又パンツを取つてやらなくとも自分一人で出来る様になつたか否かを見る

15 顔を洗う  
自分で顔を洗うか、石鹼は使えなくともよい

16 新聞などを取つて来る

命すれば新聞や手紙などを取つてくる位の御用をする

17 鼻をかむ  
自分で出来る様になつたか

18 小さな怪我では泣かない  
自分で怪我をした場合に直ぐ泣かない

#### 四 歳

19 排便の自立

完全に排便が出来るか、即ち紙で後始末まで出来る様になつたか

20 自分で着物をきる

平常着は大人の手を煩わさなくなつたか  
魚の名を三つ以上言える

「お魚の名を知つてゐるだけ云つてごらん」と尋ねる、三十秒以内に三ツ以上云えれば合格

21 20

22 長上の人に挨拶する

お客様などに對し、うながせばおじぎをするか

23 錆で形を切り抜く  
單に錆で紙を切るだけでなく、簡単な形のものを切り抜け

24 紐が結べる  
紐結びが出来るか

25 歯を磨く  
自分で歯を磨く様になつたか、朝起きた時でも夜寝るときでもよい

26 踏切を一人で渡れる  
自分で踏切を一人で渡れる  
或は自動車の多く通る道を一人で歩いても安全、手を引いたり傍で注意していなくても大丈夫になつたか

27 双六やカルタが出来る

假名のカルタや双六（複雑な規則は守らなくてもよい）をやるか、負けると直ぐ泣いたりして尋常に遊び仲間にはいれなくともよい

28 時々自分の寝具を片付ける或は庭の掃除する  
親の手傳いとして寝具を片付けようとするか、完全に押入にしまい得なくともよい、又毎日しなくともよい、庭の掃除も不完全でもよい

29 四軒歩ける

四糠位の距離なら平氣で連れて歩くことが出来るか、疲れでぐずついたりしてはならない

厚紙が切れる

小刀で厚紙を切る事が出来るか

小怪我に自分で薬をつける

小さな怪我をした場合自分でアカチンやメンソレターム等をつける様になつたか

## 六 歳

鉛筆が削れる

自分で小刀をもつて鉛筆が削れるか、上手に削れなくともよい

行きなれた所なら一糠位の所へ一人で行ける

餘り複雑でない行きなれた場所なら他人と一緒にでなく一人で行けるか

時々炊事の片付けをする

自分以外の家族の人のお皿を運んだりして、時々臺所の片付けを手傳うか

野菜の名を六ヶ以上云える

「知つてゐるだけ野菜の名を云つてごらん」と尋ねる、三

十秒以内に六ヶ以上言えるとよい

草取りをする  
命すれば草取りをするか

自分で爪をきる

36

35

34

33

32

30

厚紙が切れる

小刀で厚紙を切る事が出来るか

小怪我に自分で薬をつける

小さな怪我をした場合自分でアカチンやメンソレターム等をつける様になつたか

## 六 歳

はさみで自分の爪がきれるか、片方の爪のみきれるのでもよい

お客に行つたら行儀よく振舞う

しばらくの間は行儀よく振舞い、直ぐ歸ろう等と言わないか

順序を守つて乗物に乘つたり左側通行を守る人が列を作つているとき先に乘ろうとせず順序を守るか、

或は左側通行等の意味が分つてゐるか

## 七 歳

40 小鳥の名四ヶ以上云える

「知つてゐるだけ小鳥の名を云つてごらん」と聞き、三十秒以内に四ヶ以上云えれば合格

41 マツチに點火出来る

自分でマツチをすつて點火する事が出来るか

友達を呼ぶのに何々チヤンと言わなくなる

友達を呼ぶのに君付けをしたり呼び捨てにするか、幼児の様に何々チヤンと云わぬ、但し小さい時から親しい友に對しては昔乍らの云い方をしていてもよい

42 銳利な小刀を持たせても安全

ガスに點火出来る、或は炭火をおこしたり薪をもやせる

子供が安全にガスに點火が出来たり或は火種に炭をついでおこす事が出来ればよい

45 鋸がつかえる（男）或はお手玉遊びが出来る（女）

男なら鋸をつかつて板を切つたり、女だとお手玉遊びが出  
来ればよい

46 自分で綿帯をする

小さな傷に對し自分で綿帯して手當が出來るか、最後の結  
ぶ所を手傳つてもらうのはよい

47 時々雨戸の開閉をしたり、自分の室の掃除をする

毎日の仕事となつていなくても時々出來ればよい

八 歳

48 交叉點を信號通りに渡れる

交叉點或は踏切等を電車の信號に従つて渡れるか

49 木の名を七十秒以上言える

木の名を七十秒以上云えればよい

50 竹細工が出来る

竹で簡単な手細工が出来ればよい

51 竹で簡単な手細工が出来ればよい

竹で簡単に手細工が出来ればよい

52 八糠位の道なら大して疲れず歩ける

八糠位の道なら大して疲れず歩ける  
(男) 布で布團がつくれる、(女)

53 布團等を作る事が出来るか、或は布を縫つて人形の  
球を投げたり受取る事が出来るか、或は布で布團がつくれる、(女)

父親のことを「オトウチヤマ・オトウチヤン・トウチヤ  
ン」等と言わなくなる

幼児の訛や甘えた言い方がなくなればよい

54 農事の手傳いをする

九 歳

55 野菜の名九ツ以上云える

九ツ以上の名をすら／＼云えればよい

56 二寸釘が打込める

二寸釘を打込む事が出来るか。女なら鋸が使える様になつ  
てしまふか

57 一人で乗物を利用する

前に數回行つたことのある處なら一人で電車に乗つて行く  
事が出来るか、通學の場合は含まない

58 將棋トランプ等をする

複雑な規則を持つた遊びが出来る様になつたか、尚負けた  
ら直ぐ怒る様なく、勝負を楽しめる様になつたか

59 敬語が適當に使える

必ずしも正確な使用でなくともよいが、長上の人等に對し  
適當に使えるか

十 歳

60 61 每日自分の寝具を片付ける

野球が出来る(男)童話を讀むのがへる(女)

男なら野球が出来る、女なら童話を讀むのがへつて少女小  
説等を讀む様に變つたか

62 魚の名十以上

魚の名十以上をすら／＼云えればよい

63 手紙のやりとりをするか

友達等と交通をするか

64 少し離れた隣の町まで一人で行く

65 四軒位離れた隣町まで一人で用足しに行けるか

毎日定つた家業の手傳いをする

農業や商業の子弟なら家業の一部を手傳つてゐるか、或は料理の手傳いをするか、或は一人でお茶をわかす位は出来るか

### 検査採點法

先づ素點を出す。このためには合格問題數を數えればよい。次に次表によつて発達年齢を特出する。夫を生活年令で割つて発達指數を出す。

$$\text{発達指數} = \frac{\text{發達年令}}{\text{生活年令}} \times 100$$

尙指數の評價は次の如くする。

優秀(一三〇以上)	佳良(一一五—一二九)
平均上(一〇〇—一一四)	平均下(八五—九九)
下良(七〇—八四)	低劣(六九以下)

素點	發達年齡 年月	素點	發達年齡 年月	素點	發達年齡 年月	素點	發達年齡 年月
1		17	2:11	33	5:1	49	7:5
2		18	3:0	34	5:3	50	7:6
3		19	3:1	35	5:4	51	7:8
4	1:0	20	3:3	36	5:6	52	7:10
5	1:2	21	3:5	37	5:8	53	8:1
6	1:5	22	3:6	38	5:10	54	8:3
7	1:7	23	3:8	39	6:0	55	8:5
8	1:9	24	3:10	40	6:2	56	8:8
9	2:0	25	4:0	41	6:4	57	8:11
10	2:1	26	4:2	42	6:6	58	9:3
11	2:2	27	4:3	43	6:8	59	9:6
12	2:4	28	4:5	44	6:9	60	9:11
13	2:6	29	4:6	45	6:11	61	10:3
14	2:7	30	4:8	46	7:1	62	10:7
15	2:8	31	4:9	47	7:2	63	11:0
16	2:9	32	4:11	48	7:4		

年令

No.

## 社會的生活能力検査

姓 名			素 點	偏 差 値			
男 女							
所 屬	第 學 年						
出生日	昭 和 年 月 日 生		生活年令	才 月 日			
検査日	昭 和 年 月 日		検査者				
住 所			同 胞 敷				
親ノ職業			出生順位				
年令	番號	土	問 項	年令	番號	土	問 項
1	1		お匙の使用ができる	4	16		新聞などとつてくる
	2		自分で茶碗から飲める		17		鼻をかむ
	3		排尿の豫告をする		18		小さな怪我では泣かない
	4		キヤラメル等の包紙を開く		19		排便の自立
	5		庭を歩く		20		自分の着物をきる
2	6		お匙と茶碗と両手に使用できる	5	21		魚の名三つ以上
	7		襪襟を使わなくなる		22		長上の人に挨拶する
	8		上衣が脱げる		23		鉢で形を切抜く
	9		お箸の使用ができる		24		紐が結べる
	10		完全に一人で食事ができる		25		歯をみがく
	11		手を洗う		26		踏切を一人で渡れる
3	12		上衣のボタンがかけられる	27		双六やカルタができる	
	13		靴が一人ではける	28		時々自分の寝具を片付ける或は庭掃除する	
	14		排尿の自立	29		四糸歩ける	
	15		顔を洗う	30		厚紙が切れる	

年令	番號	土	問 題	年令	番號	土	問 題
6	31		小怪我に自分で薬をつける	8	49		木の名七つ以上
	32		鉛筆が削れる		50		竹細工ができる
	33		行きなれた所なら一糸位の所へ一人でゆける		51		八糸歩ける
	34		時々炊事の片付けをする		52		キヤツチボールしたり(男) 布で布団が作れる(女)
	35		野菜の名六つ以上		53		父親のことをオトウチヤマ オトウチヤン トウチヤン等といわなくなる
	36		草取りをする		54		農事の手傳いをする
	37		自分で爪を切る		55		野菜の名九つ以上
	38		お客様に行つたら行儀よく振舞う		56		二寸釘が打込める
	39		順序を守つて乗物にのつたり左側通行を守る		9	57	一人で乗物を利用する
	40		小鳥名四つ以上		58		将棋トランプ等をする
7	41		マッチに點火できる		59		敬語が適當に使える
	42		友達を呼ぶのに何々チヤンと呼ばなくなる	10	60		毎日自分の寝具を片付ける
	43		鋭利な小刀を持たせても安全		61		野球ができる(男) 童話をよむのがへる(女)
	44		ガスに點火できる或は炭火をおこした薪をもやせる		62		魚の名十以上
	45		鍋がつかえる(男) お手玉遊びができる(女)		63		手紙のやりとりをする
	46		自分で綱帶をする		64		少し離れた隣町まで一人でゆく
	47		時々雨戸の開閉をしたり自分の室の掃除をする		65		毎日定つた家業の手傳いをする
	48		交叉點を信號通りに渡れる				

## 備 考